

令和7年度 第2回 焼津市地域公共交通会議 会議録		開催	日時 令和7年10月29日(水) 14時00分～16時00分
			場所 市役所4階応接室
報告事項	ア 令和6年度 大井川焼津線の利用状況について イ 令和7年度上半期 市内バス路線の利用状況について ウ 令和7年度上半期 市内デマンドタクシーの利用状況について エ 大井川地区で実施した利用促進策について オ 豊田地区・東益津下根方地区デマンドタクシーの検討について カ 「ハッピーライド in 静岡」プロジェクトについて		
協議事項	くるりん号の運行改善策について		
出席委員 13名	(公共交通会議) 飯塚会長 (焼津市) 市川代理委員 (しずてつジャストライン(株)) 岸 委員 (株)アンビ・ア) 中山委員 ((一社) 静岡県バス協会) 小泉委員 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 八木委員 (中部運輸局静岡運輸支局) 廣津代理委員 (静岡県交通基盤部) 本杉委員 (静岡県島田土木事務所) 大谷代理委員 (静岡県焼津警察署) 山名委員 (焼津市自治会連合会) 原川委員 (さわやかクラブやいづ連合会) 増田委員 (焼津市民生委員児童委員協議会) 三藤委員 (焼津市社会福祉協議会)		
欠席委員 2名	山田委員 (ジャストライン労働組合) 八木委員 (静岡福祉大学)		
オブザーバー	焼津市建設部長 白石 雅治		
傍聴者	0名		
議事内容			
会議の成立	委員15名のうち過半数である13名が出席しているため会議は成立する。		
報告事項	ア 令和6年度 大井川焼津線の利用状況について イ 令和7年度上半期 市内バス路線の利用状況について *説明資料 P.3～11 第1回会議で示した資料の修正、および市内バス路線の利用状況、市が実施しているバスの利用促進策について説明した。 【質問・説明等】 ○小泉委員：大井川焼津線の大井川区間のみの利用者は、くるりん号が利用できるが、バスを選んだということになる。もし可能であれば、くるりん号でなくバスを選んだ理由の分析をお願いしたい。料金の問題なのか、それ		

とも予約が面倒なのか、など。

⇒事 務 局：OD調査を実施する際に併せて調査するなど、検討する。

○本杉委員：自主運行バスの利用者が8月に減少する傾向にある中で、大井川焼津線は焼津循環線に比べ減少幅が小さいようだが、この要因は何か。

⇒事 務 局：8月は学生が夏休みに入るので利用が減るが、8月13日から15日のお盆の時期を、焼津循環線は運休としているのに対し、大井川焼津線は土日祝ダイヤで運行しているため、その影響だと考えられる。

○本杉委員：バスに乗って地域再発見の旅について、去年は上半期の参加者数を1年に換算すると200名ほどの参加者数であったが、今年は1年に換算すると160名ほどとなっている。この要因は何か。

⇒事 務 局：今年は悪天候により中止となった企画が2回あるため、昨年より実施回数が少ないというのが理由の1つである。また、20名の定員に満たなかった企画もあるため、その影響もあると思われる。これからも様々な企画をしていくが、参加者数が定員を大きく下回ることはないよう工夫する。

ウ 令和7年度上半期 市内デマンドタクシーの利用状況について

エ 大井川地区で実施した利用促進策について

*説明資料 P.12～22

上半期の市内3地区デマンドタクシーの実績、大井川地区の公共交通利用者数、実施したくるりん号の利用促進策を説明した。

【質問・説明等】

○小泉委員：大島・三和地区デマンドタクシーは、運行当初は買物に夫婦で利用される方など、それなりに利用があったが、体調が悪くなり利用できなくなる方も出てきて、最近では利用者数が少ない。

大井川地区は本日（10/29）時点で約360名、中でも一般の方の利用が200名を超え過去最高となっている。新たに通勤で利用される方などが増えた。

くるりん号は2便、3便の利用が多く、これは朝8時、9時台で一般的に道路が混む時間帯であるため、同じ時間帯に3名4名の予約が入ると、10分間で回り切れず遅れが出てしまうことがあるが、安全第一で運行している。

最後に質問だが、利用促進策として、免許証を返納された方に焼津市の公共交通を紹介する機会などはあるか。

⇒事 務 局：現在、道路課では免許証を返納された方への特別な周知は行っていない

いが、他の課でそういった取り組みをしているかどうか、庁内に確認する。

○小泉委員：利用者の中に、免許を返納したばかりだという方がいるため、免許返納の際に、なにかデマンドタクシーの利用につながるサービスがあると、効果的なのではないかと思う。

⇒会 長：焼津市では現在、免許返納の際にそういった働きかけをしていないため、事務局で検討する。

○大谷代理委員：現在、焼津市でもかなりの数の方が免許証を返納している。警察では、免許証を返納する方へタクシー料金が割引になる旨を必ず案内している。警察署にデマンドタクシーのパンフレットも置いておくことで、返納する方に公共交通をPRできると思うので、ご検討いただきたい。

公共交通が充実していることで、別の交通違反や交通事故の減少にもつながると思うので、焼津市の安全なまちづくりの実現のためにも、ご協力をお願いしたい。

オ 豊田地区・東益津下根方地区デマンドタクシーの検討について

＊説明資料 P. 23～27

地元の役員と協議を進めている豊田地区及び下根方地区のデマンドタクシーについて、アンケート調査を実施したことを説明した。

【質問・説明等】

○原川委員：アンケートの回収率が 10.7%というのは低いように思うが、回収率がこれほど低いものは過去にもあるのか。

⇒事 務 局：豊田地区のアンケートは、地元役員との協議の上で、『デマンドタクシーを利用する可能性のある方のみ、ご回答ください』としていたため、総配付数に対する回収率は低くなっている。一方で、利用する可能性のある方のみからの回答が集まっているため、より具体的な要望が集まっていると考えている。また、過去の焼津 IC 周辺地域でのアンケートは回収率 23%であったが、豊田地区は高齢化率が低いことも回答率が低かった理由と考えている。

○本杉委員：下根方地区は利用しない方からも回収し、豊田地区は利用しない方からは回収しないということで、アンケートの作りが違うということか。

⇒事 務 局：そのとおりである。下根方地区では過去にも試験運行を実施しており、その時は利用者数が想定よりも少なく、試験のみで終了してしまった経緯があることから、地元役員から「利用しない方からも、その理由を

協議事項	<p>聞いた方が良いのでは」と意見が出たため、このような違いがある。</p> <p>カ 「ハッピーライド in 静岡」プロジェクトについて *説明資料 P. 28～29 静岡県交通基盤部 廣津代理委員より説明。</p> <p>【質問・説明等】 特になし</p> <p>くるりん号の運行改善策について *説明資料 P. 30～P37 10/15 に開催した大井川分科会で議題にした、くるりん号の運行改善策や、そこで上がった意見について説明した。</p> <p>【質問・説明等】 ○八木委員：利用者数が増えているのは良いことだが、費用も多くかかってしまっている。専門家の中には、タクシーチケットを配付した方が安上がりだという方もいるが、一方で定時運行が確保されていることは大きな安心感があり、悩ましいところである。 ①例えば、デイサービスなどの福祉施設が利用者を送迎しているものについて、利用者の中で歩ける方はデマンドタクシーに移行してもらうことができれば、デマンドタクシーの利用促進になり、施設側も送迎の負担が減り、Win-Win ではないかと思うので、1つの案として提案したい。 ②利用者数の増加について、1 人が毎日のように利用すれば大きな数になるという説明があったが、毎日のように利用する方が増えるというのは大きなことだと思うので、その点の要因も分析してもらえたらと思う。</p> <p>⇒事務局：①デイサービス等の利用者がデマンドタクシーを利用できるかどうかについては、福祉部局へ確認する。 ②利用者にアンケート調査をするなど、利用実態や需要の確認をしていく。</p> <p>○小泉委員：11 月 1 日から、静岡県の最低賃金が上がり、11 月 25 日からタクシー運賃も上がる。委託費は上がっていく方向にある。現在は大型の車両で全便に対応するようになっているが、これを下げるためには、小型車両での運行にするとか、利用の少ない時間の便を減らすとか、土曜の運行をなくすといった方向になると思う。</p> <p>○八木委員：ただ契約金額だけを見て、高いから問題だと判断するのではなく、費用</p>
------	--

対効果を見ながら運行形態を考えていってほしいと思う。その際には地域住民の理解が必要になってくるので、市には地元への説明をしていただくなど、合意形成を図っていただくようお願いしたい。

○大谷代理委員：焼津市に限らず全国的にあることだが、新しい交通形態が始まる際に、説明がホームページに掲載されているだとか、スマートフォンでQRコードを読んでくださいだとか、最近はそういった案内が多いが、スマートフォンを持っていない方、持っても上手く使えない方への対応が必要となっている。デジタルデバイスに疎い方への配慮を忘れないでほしい。

⇒会 長：デジタル化で色々なことが便利になっている一方で、その恩恵を受けられない方がどうしても出てくる。市としては従来どおりの方法も残しておくなど、そういった方々に寄り添っていききたい。

○本杉委員：改善策の案1について、大井川地区在住の方のみでなく、市内在住の方であれば誰でも利用できるようにすれば、デマンドタクシーの認知度も上がり利用促進策として効果的であると思うので、賛成である。
案2について、利用されていない停留所があるが、その位置を地図上に示していくと、地理的な傾向が見えてくる。停留所の廃止はせず、新規設置の要望があったときに、位置の変更というかたちで対応することも効果があると思うので、賛成である。

○山名委員：大井川分科会で話題に上がったのだが、登録している人の友人と一緒に利用したいという問合せがあったが、その友人は市外在住であったためお断りしたということがあったようである。予約の際にもう1人利用したい旨を伝えれば、登録者の友人の利用を認めることは、私は良いのではないかと思う。利用の拡大に向け、検討をお願いしたい。また、藤枝市でもデマンドタクシーを運行しているので、将来的には藤枝市との相互利用が可能になればいいと考えている。大井川地区の人が電車に乗る際に利用するのは、藤枝駅であることが多い。

⇒事務局：いただいたご意見を参考に、継続して検討を進めていく。

○八木委員：焼津駅方面でも藤枝駅方面でも、お出掛けを楽しむといった目的での乗り継ぎ方法を周知していけば利用促進になると思う。

⇒事務局：そのようなかたちでの周知に努めていく。

⇒会 長：改善策 案1の「大井川地区のみでなく、市内在住者も対象とする」については、山名委員からご意見があったように、登録制度について検討の余地があることから、次回以降、再度協議事項とさせていただく。

閉会	予定していた議事が終了。 第3回焼津市地域公共交通会議は、日程が決まり次第連絡する。
----	---